

# A班

## 地域のWIN

### 『住み続けられる・いつまでも居たいと思う』

- ・住み続けるための社会資本(基盤)が充実していること
- ・いつまでも夕張にいたいと思うこと、そう思う人が多いこと

**① 地域内外の交流**

- ・いろいろな人が興味を持つ事で、一体感が生まれた時
- ・一定数の人は学校とのつながりがありますが、その他と思われる人たちが、もう少し関わりを持るといいのでは
- ・成人になってから帰省してくれる

**② 地域内世代間交流**

- ・幅広い世代間交流
- ・今の時期で出来るのかはわかりませんが、交流みたいのが、できればいいと思うのですが
- ・どんな世代の人とも声かけしあえる/協力しあえるまち

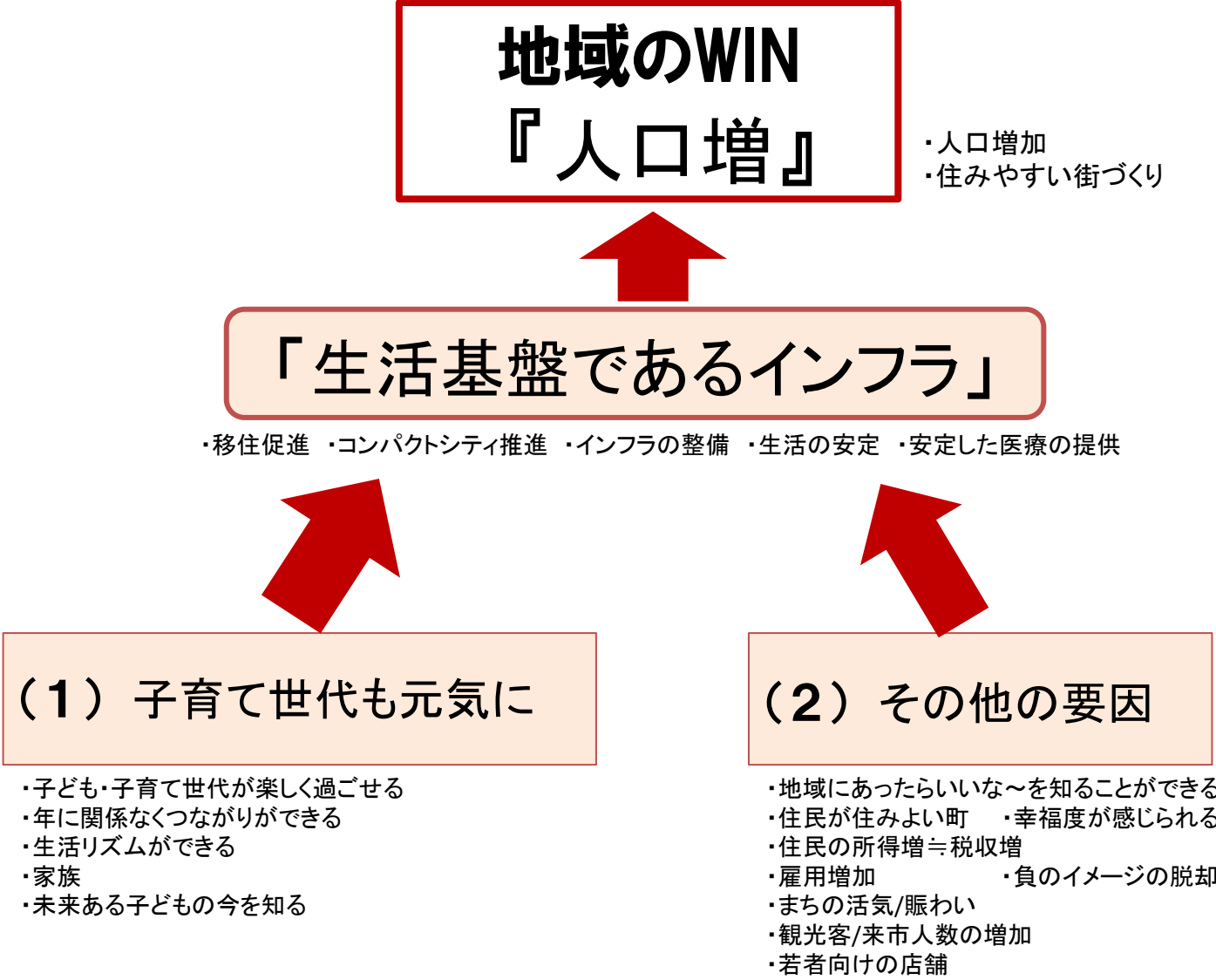
**(1) まちの教育の充実**

- ・地域の諸行事に子どもたち全員参加できれば！
- ・逆に大人が子どもたちになにかと助けられる環境
- ・夕張に生まれてよかったと思えること
- ・帰省したくなる魅力的なまちづくり
- ・都市とは違う人間関係。みな兄弟？
- ・登下校での生徒たちの笑顔、明るさ、にぎやかさを見守る大人

**(2) 集える場づくり**

- ・縮充 人口が減っても(いろいろな意味で)豊かさを感じるまちづくり
- ・一校体制なので学区には、交流の場があるようにも思いますが、いろいろな地域での活動の場があるといいかも
- ・学校、生徒、先生地域の人達、行政、全てが一体となれる場所づくり

# B班



**地域のWIN**  
**『人口増』**

- ・人口増加
- ・住みやすい街づくり

**「生活基盤であるインフラ」**

- ・移住促進
- ・コンパクトシティ推進
- ・インフラの整備
- ・生活の安定
- ・安定した医療の提供

**(1) 子育て世代も元気に**

- ・子ども・子育て世代が楽しく過ごせる
- ・年に関係なくつながりができる
- ・生活リズムができる
- ・家族
- ・未来ある子どもの今を知る

**(2) その他の要因**

- ・地域にあったらいいな~を知ることができる
- ・住民が住みよい町
- ・幸福度が感じられる
- ・住民の所得増≒税収増
- ・雇用増加
- ・負のイメージの脱却
- ・まちの活気/賑わい
- ・観光客/来市人数の増加
- ・若者向けの店舗

# C班

**① 学びあう場としての学校**

- ・身近に学校があること
- ・子どもに教える場面がある
- ・子どもと一緒に遊べる
- ・身体を学校で鍛える
- ・地域の子どもに会える
- ・学校が在り、集まる！
- ・一緒に学べる場所
- ・学校に楽しむが有る

**② 学校が地域へ**

- ・学校や先生方が地域行事に参加すること
- ・以前小学校で取り組んだ、運動会での阿呆踊り
- ・黒ダイヤばやしの外部講師、祭りへの参加促進
- ・地域行事に子どもが参加してくれること
- ・先生方と地域で交流することができること  
(地域において、先生方から子どもの話を聞ける)
- ・お祭りの継承

**③ 地域において子どもたちと**

- ・地域の経済を助ける (buy, sell)
- ・公園として活用
- ・子どもと挨拶や会話を交わせること
- ・子どもが遊ぶ姿、学ぶ姿を見ることができる
- ・子どもの声をきくことができること
- ・子どもたちに会うことができる！
- ・子どもがいること(存在する)

**すべてを実現して、地域のWIN**

**④ 企画**

- ・防災Dayキャンプを(生徒会・児童会で)企画し、町内会と共催する(自助・共助)
- ・避難できる、泊まることができる
- ・中学校で行っているりすた景観整備は、まさに地域のWin
- ・除雪ボランティアなど企画できないか？
- ・地域をわけて、委員が担当、終了後豚汁を食べるなど

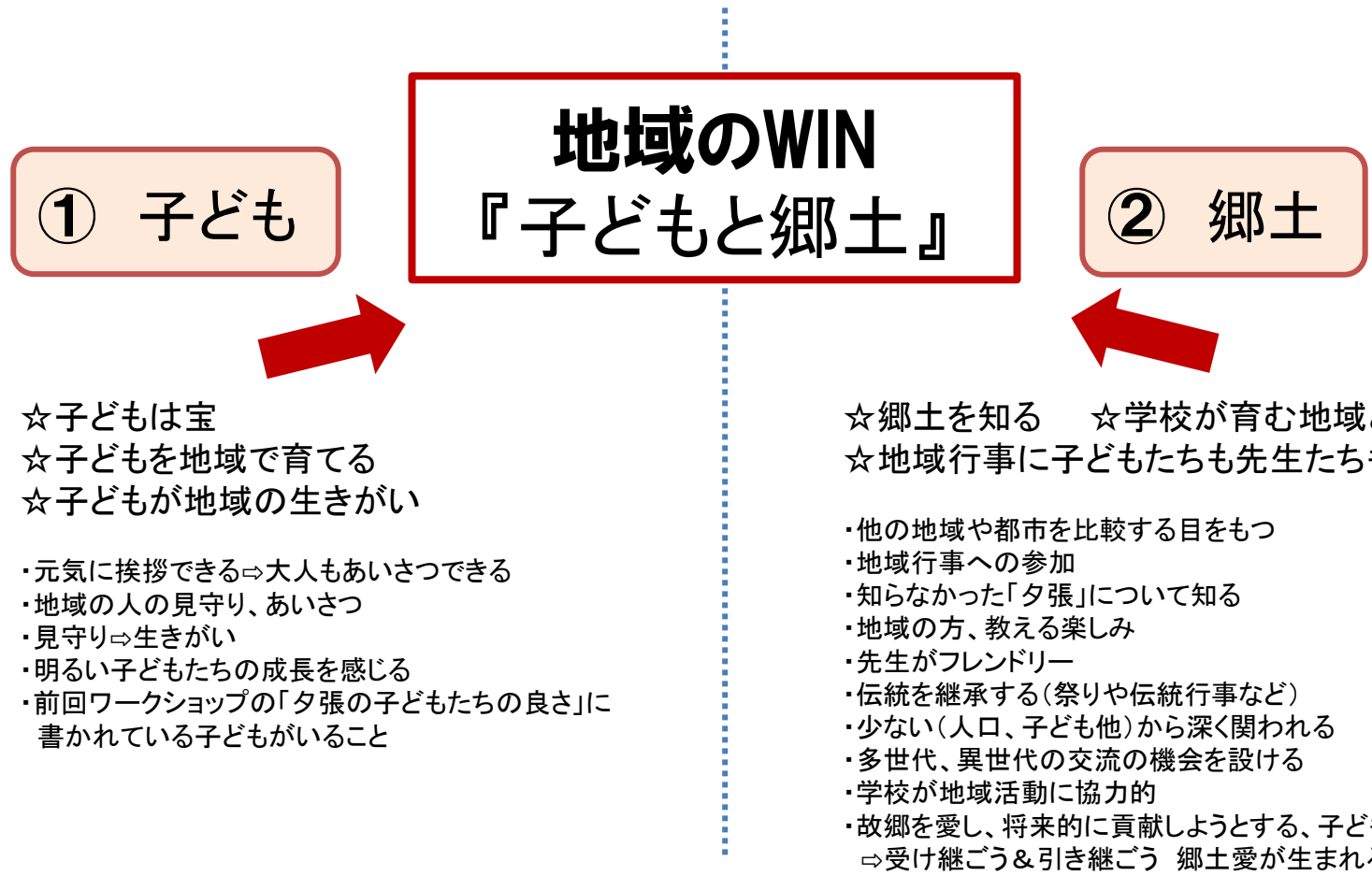
**⑤ 大人の育ち**

- ・学び直し
- ・ゴミ出しをしてほしい
- ・学校で教えてもらえる
- ・コミュニティを支える大人が育つ
- ・若い人が増える
- ・除雪を手伝ってほしい
- ・支え合える関係性

**⑥ 残す**

- ・地域の歩みが学校でわかる
- ・夕張の歴史を伝承
- ・「ゆうばりを語る会」小、中、高で思いを紡いでいく 伝承活動
- ・自然の集積所

# D班



## 課題

☆コロナ禍で行事ができず、つながりが減った  
☆子どもも大人も地域から減った

- ・地域の子どもの減少している
- ・コロナで行事ができない
- ・町内の子どもイベント減少
- ・子どもを通じた人とのつながりが少ない
- ・子ども会がない